徳島県防災会議議事録

日　時　　平成２７年１２月２２日（火）　午後１時３０分から２時３０分まで
場　所　　徳島県庁１０階　大会議室
出席者　　別添委員名簿のとおり

１　開会

２　会長あいさつ（徳島県知事 飯泉嘉門）
本日は、徳島県防災会議を開催しましたところ、年末の大変お忙しい中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃より皆様方には、本県の安全安心対策の第一線で御協力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。
そして、この度新たに委員就任に御快諾いただきました皆様、本当にありがとうございます。どうかよろしくお願いいたします。

まず冒頭に男女共同参画についてですが、本県における審議会委員の女性比率は、平成２０年度から７年連続で日本第一位、そして、県全体として５０パーセントを超えることとなりました。
しかし、防災会議をはじめとする災害関連の審議会につきましては、女性委員の比率が低いのが全国的な特徴となっており、東日本大震災の応急対策において、女性の皆様方の視点や知恵が欠けていたことが指摘をされ、教訓といわれているところであります。
東日本大震災以降、防災関係の審議会委員に御就任いただく形で、女性の皆様方に参画をしていただこうと、関係機関に御理解をいただいているところでありました。
そして今回の会議をもって、徳島県防災会議の女性委員の比率が５０パーセントとなりましたことを御報告させていただきます。

さて、去る１２月２０日に県南部圏域の防災訓練を行ったところでございますが、２１日には、「昭和南海地震」から６９年を迎えたところであり、いよいよ来年が７０年となります。
この「昭和南海地震」は、県南部を中心に死者・行方不明者が二百名を超え、本県にとっては、戦後における大きな災害となりました。
我々としては、南海トラフ巨大地震を迎え撃ち、死者ゼロを目指して対策を進めているところであります。

しかし、昨年から今年までを振り返ってみましても、昨年の８月と今年の７月に、同じ「台風１１号」により、県南部地域は大きな被害を受けたところであります。
また昨年の１２月には、徳島でまさかの大豪雪により、多くの集落が孤立をしました。
これは、今まででは考えられないことではありましたが、東日本大震災以降、我々は、

「想定外」という言葉は二度と使わないこととし、こうした豪雪への対応につきましても、緊急輸送路などの主要幹線道路やその沿線について、今後は道路閉塞をきたさないように、また、架線を切ることがないように倒木対策を行うなどの雪害対策を進めているところであります。

徳島県におきましては、南海トラフ巨大地震を迎え撃つために「しなやかな回復力」と「致命傷を負わない強靱な力」をしっかりと持たなければならない。
このため、今年の３月に「徳島県国土強靱化地域計画」を策定し、これに基づき様々な対策を進めているところであります。

本年６月には県立海部病院の高台移転が着工となったところですが、海部病院はまさに県南の守りとなるところであります。
南海トラフ巨大地震が起きることを前提として「ツイン・ヘリポート」にするとともに、自衛隊の重量のある「双発ヘリコプター」も離発着可能な強度を持つヘリポートを備える計画であります。平成２９年度に開院となるよう、建設を進めていきたいと思います。

また、今年９月１日の総合防災訓練においては、地震が起こりその後台風が襲来をするという、いわゆる「複合災害」の訓練を行ったところでありますが、これは決して絵空事ではなかったのです。
今年、関東で大きな地震があり、その直後に台風が上陸し爆弾低気圧に変わり、最終的には鬼怒川の堤防が決壊する豪雨災害になったところであります。
まさに防災訓練のような複合災害が現実に起こるわけであり、我々としては、進化する防災訓練を行っていかなければならないと考えています。

同時に、新しいシステムの導入を考えております。
ひとつは、日本で最も進んでいる徳島の「光ブロードバンド環境」を活用して、気象庁などの情報を地図上に提供する「Ｇ空間情報（地理空間情報）」活用モデル事業を、二年続けて総務省の実証を採らせていただいているところであります。
そしてもうひとつは、「Ｌアラート（災害情報共有システム）」を活用して、避難情報などの災害情報をカーナビに映し出して、ドライバーに提供する。こういった最先端のシステムを国とともに開発し、多くの皆様方に利活用していただける対策を進めているところであります。

本日は、「徳島県地域防災計画」及び「徳島県広域防災活動計画」の見直しについて、お諮りをさせていただきたいと思います。
皆様方におかれましては、大所高所から、また、それぞれの分野から御提言を賜りますことをお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。
皆様方、本日はどうかよろしくお願いいたします。

３　報告

（１）委員の異動について　［資料１］により説明

＜事務局説明：とくしまゼロ作戦課長＞

（２）「徳島県水防計画」の変更について　［資料２］により説明

＜事務局説明：河川整備課長＞

４　議事

（１）「徳島県地域防災計画」の修正について　［資料３］、［資料４］により説明

＜事務局説明：とくしまゼロ作戦課長＞

議長（知事）

それでは、ただいまの説明につきまして、御質問、御意見がございましたら承りたいと存じます。いかがでしょうか。

島本委員（日本赤十字社徳島県支部）

地域防災計画の修正として、「災害時情報共有システム」の機能強化、共有体制の拡充について反映していただいていますが、災害時には様々な情報を収集する必要があると考えております。

平成２５年９月から、病院も参加して本格的な運用を開始されていますが、私たちも含めて、関係機関がより利用しやすいような環境づくりを整えていただければと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（とくしまゼロ作戦課長）

御意見ありがとうございます。

「災害時情報共有システム」につきましては、現在、関係機関の皆様への登録の拡大を行っております。

最初の段階としまして、情報の閲覧権限をそれぞれの機関に御提供させていただき、次に、運用における入力の体制を取っていただける機関につきましては、順次、情報の入力（情報発信）をしていただくというように考えています。

今年の１１月に、「災害時情報共有システム」の登録の前提となる「すだちくんメール」の大幅なリニューアルを行い、以前と比べて登録しやすくなるように修正いたしました。

これから順次、関係機関の皆様方にこれまで以上に登録の拡大をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議長（知事）

ほかにいかがでしょうか。

それでは、皆様にお諮りしてもよろしいでしょうか。議題１「徳島県地域防災計画の修正」につきましては、原案のとおり了承することとしてよろしいでしょうか。

（異議なし。）

ありがとうございます。
それでは、「徳島県地域防災計画の修正」につきまして、原案のとおり了承するとともに、御意見をいただきましたように、より多くの皆様方に「災害時情報共有システム」を御活用いただけるよう努力していきたいと思います。

（２）「徳島県広域防災活動計画」の修正について　［資料５］、［資料６］により説明
＜事務局説明：とくしまゼロ作戦課長＞

議長（知事）
それでは、ただいまの説明につきまして、御質問、御意見がございましたら承りたいと存じます。いかがでしょうか。

郡委員（県立中央病院）
本年度、東部地域の防災訓練が、地域住民の方や医師会の皆様、消防の方々と一緒に、中央病院にて開催することができました。普段は、病院単独で訓練を行っておりますが、今回たくさんの方々と一緒に訓練を行うことによって、多くの学びもあり、大変有意義なものでした。
このような訓練が単年で終わるのではなく、今後も継続的に行っていただければとお願いいたします。

議長（県知事）
ありがとうございます。多くの機関の訓練への参加について、御協力をお願いしたいと思います。
せっかくの機会ですし、ほかにいかがでしょうか。

それでは、お諮りしたいと存じます。議題２「徳島県広域防災活動計画の修正」につきまして、原案のとおり了承することとしてよろしいでしょうか。

（異議なし。）

ありがとうございます。
それでは、「徳島県広域防災活動計画の修正」につきましては、原案のとおり了承とさせていただきます。

以上で、予定をしておりました議題については全て終了しましたが、今日は、防災関係機関の皆様方が一堂に会する、またとない機会ですので、ここからは意見交換に移っていきたいと思います。

これからの計画でも協力依頼でも結構ですので、何かございましたら積極的に御発言いただければと思います。

いかがでしょうか。

橋本委員（一般社団法人徳島県助産師会）

徳島県助産師会では、実際に災害が起こったときに助産師会の活動が行えないのではないかと考え、災害対応のシミュレーションを行う計画を立てておりまして、今後検討を進めていく予定です。

議長（知事）

ありがとうございます。

積極的に活動を行っていこうということで、橋本会長をはじめ、助産師会の皆様方にもよろしくお願い申し上げます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の案件は全て終了とさせていただきます。

以上をもちまして、徳島県防災会議を閉会とさせていただきます。

これから刻一刻と、南海トラフ地震をはじめ巨大な災害が、日本を、徳島を襲うという状況が近づいてきます。

皆様方には、ぜひ今日のような機会に「顔の見える関係」を築いておいていただきたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

本日は、お忙しい中御出席を賜りありがとうございました。

５　閉会